

令和4年12月23日

福知山市議会議員 高橋 正樹 様

予算審査委員会委員長 芦田 眞弘

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第57号「令和4年度福知山市一般会計補正予算（第6号）」
- ・議第58号「令和4年度福知山市国民健康保険診療所費特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第59号「令和4年度福知山市農業集落排水施設事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第60号「令和4年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」
- ・議第61号「令和4年度福知山市水道事業会計補正予算（第1号）」
- ・議第62号「令和4年度福知山市下水道事業会計補正予算（第2号）」
- ・議第63号「令和4年度福知山市病院事業会計補正予算（第1号）」
- ・議第74号「財政調整基金の繰入れについて」

2 審査の概要

12月16日、19日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第57号の体育施設維持管理事業について、「他の体育施設の状況と温水プールにおいて光熱費を抑えるための工夫はどのようなものか」を問う質疑があり、「温水プールについては、指定管理料約2,600万円のうち光熱費が1,900万円から2,000万円を占めており、水温上昇のために多額の経費を要することから補正をお願いするもので、他の体育施設については大きな影響はない。水温低下を少しでも抑えるために閉館時にはプール表面にシートを張るなどの対応をしている」との答弁がありました。続いて、「温水プールにおけるガス料金の上昇状況」を問う質疑があり、「令和4年4月から9月までのガス料金は814万6,557円で、コロナ禍以前の平成29年度から令和元年度の同期間の平均額は572万4,390円となっており、約1.4倍の上昇となっている。使用量に大きな変化はなく、原料費調整額の上昇が大きな要因である」との答弁がありました。

次に、人件費の補正（議第５８号、議第６０号含む）について、「職員の異動等に伴う４，２１２万７，０００円の減額の内訳」を問う質疑があり、「年度途中退職に伴うものとして約４，２５０万円の減、育児休業に伴うものとして約９，３８７万５，０００円の減、増の要因としてコロナ対応や避難所運営等の超過勤務手当として約９，４２４万８，０００円が主なものである」との答弁がありました。

次に、民間保育所施設整備事業について、「下六人部保育園園舎建替え工事は、令和３年９月定例会にて１億５，９７６万７，０００円の新規補正を行い、その後の入札不調により、令和４年３月に減額補正となった。今回、この時期に改めて補正を行うことになった経緯」を問う質疑があり、「新型コロナウイルス感染症の影響により、建築資材が高騰し、現在も高止まりが続く中で、状況を見極めていたが、令和４年１０月に国の地方創生臨時交付金を児童福祉施設等の整備における建築資材の高騰にも活用するよう通知があったこともあり、今回のタイミングとなった」との答弁がありました。

次に、中小事業者物価高騰等緊急支援金給付事業について、「法人、個人事業主の想定対象件数の算出根拠」を問う質疑があり、「法人については、国税庁の法人番号公表サイトから宗教法人等対象とならない件数を差し引いて算出している。個人事業主については、直近の令和３年度の京都府市町村税課税状況等調の営業等所得者の数値を参考に算出している」との答弁がありました。続いて、「申請方法と給付までの期間」を問う質疑があり、「窓口は産業観光課で、審査に必要な書類を後追いができる簡易書留かレターパックによる郵送での受付としたい。審査完了後、１～２か月後の給付を考えている」との答弁がありました。

次に、債務負担行為補正の海外短期留学実施業務について、「限度額１，５３９万６，０００円の詳細」を問う質疑があり、「生徒１５名と引率者２名の海外留学経費として約１，４００万円で１人あたり約８２万円となっており、授業料や教材費、交流プログラム、課外活動費、ホームステイでの滞在費用、現地での移動用バスの借り上げ料、往復運賃、福知山から同行する添乗員１名の費用、燃油特別付加運賃・航空保険特別料金として１人あたり１２万円の費用が含まれる。また、出発前の事前学習に要する費用として４０万円や諸経費などを見込んでいる」との答弁がありました。続いて、「業者選定の考え方」を問う質疑があり、「ＡＮＡグループとの連携協定を基に、これまでの事業実施や今回の計画もしてきたが、今後、より効果的な事業としてお世話になれる業者をしっかりと選定していきたい」との答弁がありました。

次に、債務負担行為補正の環境配慮型学校給食食器購入経費について、「限度額１億８０２万円の妥当性と耐用年数」を問う質疑があり、「オーダーメイドのため既製品より割高となるが、環境やＳＤＧｓの視点、本市の木材利用、シビックプライドの醸成など教育的な視点が加味された複合的な価値を持った製品であり、妥当なものと判断する。耐用年数については、国の学校給食の衛生管理基準に基づく洗浄テストを行っているが問題もなく、１０年間を見込んでいる」との答弁がありました。続いて、「事業実施においての域内消費とふるさと納税基金７，３０２万円を活用する理由」を問う質疑があり、「福知山市の木材

を活用することから、パナソニックグループが地元の業者と連携して進めていくと聞いている。ふるさと納税の活用については、寄附金の使途の一つとして示している教育等の振興に関する事業に沿うものである」との答弁がありました。

次に、議第63号の病院事業の市民病院について、「外来収益の補正に関して、1日平均患者数の増加の詳細」を問う質疑があり、「全体的に増加傾向ではあるが、特に発熱外来で内科、小児科の患者数が増加したことが大きな要因である」との答弁がありました。続いて、「光熱水費の補正1億1,251万5,000円の内訳」を問う質疑があり、「電気が3,032万1,000円、ガスが7,911万6,000円、水道が307万8,000円である」との答弁がありました。

なお、議第59号、議第61号、議第62号、議第74号についての質疑はありませんでした。

反対討論

議第57号について反対する。光熱水費等、物価高騰に対する施策は賛成の立場であるが、教育、子どもたちの施策というところで、海外短期留学事業に15人で1,539万円を支出すること、環境配慮型学校給食食器購入経費でふるさと納税7,300万円がほぼ市外へでていき、この時期に給食食器を買い替えて1億800万円を支出することは、市民目線で判断すると賛成することができない。

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・議第57号 賛成多数で原案可決
- ・議第58号 全員賛成で原案可決
- ・議第59号 全員賛成で原案可決
- ・議第60号 全員賛成で原案可決
- ・議第61号 全員賛成で原案可決
- ・議第62号 全員賛成で原案可決
- ・議第63号 全員賛成で原案可決
- ・議第74号 全員賛成で原案可決